

令和5年度病害虫発生予察情報 注意報第3号

令和5年3月31日
岩手県病害虫防除所

リンゴ黒星病の早期感染による多発が懸念されます。今後の天候に注意し、花蕾着色期から防除を実施しましょう。

- 1 対象作物、病害虫 : りんご、黒星病
- 2 対象地域 : 県下全域
- 3 発生時期(感染時期) : 早
- 4 発生量 : 多
- 5 予報の根拠
 - (1) 前年発生量は平年よりやや多く、本年の伝染源密度は高いと考えられる(図)。
 - (2) 「ふじ」の発芽日は県平均で3月22日(平年4月5日)であり、りんごの生育は大幅に進んでいる。
 - (3) 向こう1か月の気温は平年より高く(3月30日、仙台管区気象台発表)、花蕾着色期から早期に感染が起りやすい状況にある。

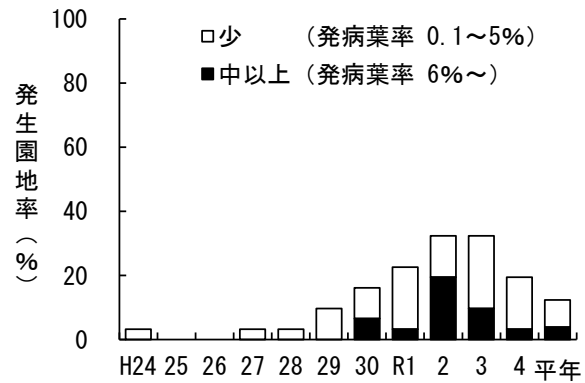


図 黒星病(葉)の発生園地率の年次推移(年間評価)

- 6 防除対策
 - (1) 重点防除時期である「花蕾着色期」と「開花直前」にDMI剤やカナメフロアブル、ミギワ20フロアブルを散布する。なお、これらの剤は降雨直後に散布すると効果的である。
 - (2) 散布ムラが無いように十分量を丁寧に散布する。
 - (3) 耐性菌の発達を防ぐため、落花期以降は黒星病を対象としたDMI剤やSDHI剤の使用を避ける。
 - (4) 苗木及び未結果樹も成木と同様に防除を徹底する。
 - (5) 発病葉や発病果は二次伝染源となるので、速やかに摘み取って園地外へ持ち出し、地中に埋没させる等して処分する。



写真1 早期感染による病徴

(左: 果そう葉の葉裏病斑、
右: がく片感染による幼果の病斑)



写真2 果実病斑

【利用上の注意】

本資料は、令和5年3月23日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・ 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・ 農薬使用の際は(1) 使用基準の遵守(2) 飛散防止(3) 防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

